

# 私立学校施設の耐震化等防災機能強化(耐震改築事業の創設)

## ■ 耐震化の重要性

学校施設は、地震等の災害発生時に園児や児童生徒・学生等の安全を確保するとともに地域の避難場所としての役割を担っているため、耐震化は非常に重要な課題。

## ■ 耐震化の加速が必要

現在の耐震化率： 幼稚園～高校等 75.4%  
 大学等 81.8%  
 (国公立の耐震化は、H27年度に完了する見込み)

## ■ 耐震改築への支援

**耐震化は補強で対応できないケースがあり、耐震化の進捗を妨げている状況。**



## ■ 生徒等の安全確保

耐震化済みの建物は、壁ひび割れ程度の軽微な被害に留まるが、未耐震建物は、建物が崩壊するような重大な被害が発生する可能性がある。

## ■ 大規模災害時の避難所機能

東日本大震災の際には、避難所指定の有無に関わりなく、首都圏の多くの私立大学において、数十～数千人程度の帰宅困難者を受入れ。  
 (文科省で把握できた大学は約50大学)

## 平成26年度概算要求額 150億円(新規)

